

# 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会平成28年度主な事業報告

## 本部事業

### (1) 総括報告

①第58回北信越ろうあ連盟・第42回北信越手話通訳問題研究集会の開催。

7年ぶりの大会・集会の準備は、富山県聴覚障害者協会、富山県手話通訳問題研究会、射水市聴覚障害者協会の3団体を構成する実行委員会により準備し、平成28年10月1日～2日、射水市のアイザック小杉文化ホールラポール他にて開催され、参加者は429名、講師、来賓を含めると約440名となりました。集い、交流パーティーなどで北信越の仲間達と学習・交流を深めました。大会式典後のアトラクションとして忍足亜希子・三浦剛ご夫妻によるトークショーが参加者を魅了しました。

②手話言語法制定・条例制定に取り組みました。

平成28年6月に結成された「全国手話言語市区長会」に滑川市、小矢部市、射水市、氷見市が入会されました。設立総会及び手話言語フォーラムが開催され、本会から2名派遣しました。また7月に設立された「手話を広める知事の会」に富山県が入会しました。

滑川市が富山県初の条例制定を目指して平成28年10月12日に「(仮称)滑川市手話言語条例制定にかかる検討会議」を立ち上げ、本会も加わった検討会議を4回重ね、平成29年3月23日の市議会に成立し、平成29年4月1日から施行されました。

③県・14市町村意思疎通支援事業の報酬単価改定。

富山県コミュニケーション支援広域派遣事業の報酬単価改定の検討に合わせて、平成28年8月末～9月初めに本会が委託を受けている14市町村を廻り、意思疎通支援派遣事業の報酬単価改定と派遣要綱見直しを支部協会の役員と一緒に要望しました。この結果、県及び15市町村全てが、平成29年度通訳報酬単価が改定されました。

④第27回県ろうあ者大会in立山の開催。

平成28年6月5日に、第27回県ろうあ者大会が立山町の町民会館で262名の参加のもと、盛大に開催されました。NHK手話キャスターの赤堀仁美さんの講演、手話コーラスのアトラクションも楽しませてくれました。

⑤文化の集いの他、公演・上映会、その他行事の実施。

共同募金助成事業の文化の集いは、高岡市ふれあい福祉センターに約280名集まり、NHK手話キャスターの田中清さんを迎え、販売、展示などで楽しくにぎやかな一日となりました。

デフ・パペットシアター・ひとみの「森と夜と世界の果てへの旅」公演を、共同募金助成事業として富山子ども劇場、富山市聾啞福祉協会との共催で開催し、平成29年3月25日(土)、約260名の参加で成功しました。

全日本ろうあ連盟創立70周年記念ドキュメンタリー映画「段また段を成して」の全国上映運動に連携し、富山県上映会は、平成28年度に高齢部の他3地区で上映会を開催しました。残る3地区は平成29年度4月に上映会を開催し、合計440人の鑑賞者となりました。

第11回全国手話検定試験では132名の受験申込みがあり、119名が受験しました。

その他のイベント、フォーラム、講座開催はおおむね計画通りに実施しました。

#### ⑥社会福祉法一部改正による定款変更と役員改選

社会福祉法一部改正により、すべての社会福祉法人が定款を変更し、評議員の改選手続きを進めるなどの対応が必要となりました。定款変更案の策定を進め富山市と協議を経て、12月18日の評議員会・理事会に議案提出、承認を得て、富山市に定款変更申請し、平成29年1月10日に認可されました。これにより平成29年4月からの新評議員選任への手続きを進めました。また専門部役員の選出も行いました。

#### ⑦富山県聴覚障害者センターの運営の状況

富山県聴覚障害者センターの利用状況は、来所者6,674名、意思疎通支援事業の利用は全体で1,104件、部屋貸出は523件、相談対応は101件でした。

#### ⑧会員の状況

正会員は265名となりました。前年度から8名減少です。賛助会員は74名（一人当たり平均3,440円）となり、正会員と賛助会員を合計すると会員数は339名です。

	新川	中新川	富山	射水	高岡	砺波	県外	合計
平成28年度	31	34	90	38	43	29	0	265人
平成27年度	29	34	91	38	48	31	2	273人

### 平成28年度事業報告

( ) は全体の数

事業名	開催月日	場所	参加数
第1回評議員会・理事会	5月22日	聴覚障害者センター	34名
第27回富山県ろうあ者大会	6月5日	立山町民会館	262名
組織活動者研修会(長谷川全日ろう連副理事長)	7月3日	聴覚障害者センター	46名
ブロック対抗ボウリング大会	7月24日	富山地鉄ゴールデンドーム	21名
第46回将棋大会	8月6日	聴覚障害者センター	11名
富聴協・富通研・県サ連三団体合同学習会	9月10～11日	砺波青少年の家	40名
山の集い	9月18日	立山方面	22名
第58回北信越ろうあ者大会・北通研集会(主管開催)	10月1～2日	射水市・他	約440名
第11回全国手話検定試験5・4級 85名申込	10月14日	聴覚障害者センター	受験75名
第11回全国手話検定試験3・2級 35名申込	10月15日	聴覚障害者センター	受験33名
第11回全国手話検定試験準1級・1級 12名申込	10月22日	聴覚障害者センター	受験11名
第38回文化の集い(共同募金受配事業)	11月6日	高岡市ふれあい福祉センター	276名
第19回医療フォーラム(本会後援)	11月27日	聴覚障害者センター	36名
スポーツの集い 第17回ビーチバレー大会	11月27日	黒部市宇奈月体育センター	53名
(第17回) 全国手話通訳者統一試験	12月3日	聴覚障害者センター	受験11名

第16回ろう教育フォーラム	12月11日	聴覚障害者センター	32名
第2回評議員会・理事会	12月18日	聴覚障害者センター	32名
第29回麻雀大会	1月15日	聴覚障害者センター	10名
第3回理事会	2月10日	聴覚障害者センター	16名
(第5回) 全国統一要約筆記者登録試験	2月19日	聴覚障害者センター	受験6名
第29回耳の日福祉集会&センター10周年イベント	3月5日	聴覚障害者センター	78名
第3回評議員会・第4回理事会	3月19日	聴覚障害者センター	32名

## (2) 会議開催

### ① 理事会の開催 (理事定数13名、監事2名)

5月22日(日)	第1回(通算第41回)	理事13名、監事2名出席
12月18日(日)	第2回(通算第42回)	理事13名、監事2名出席
2月10日(金)	第3回(通算第43回)	理事13名、監事2名出席
3月19日(日)	第4回(通算第44回)	理事12名、監事2名出席

### ② 評議員会の開催 (評議員定数35名、監事2名)

5月22日(日)	第1回(通算第24回)	評議員26名、監事2名出席
12月18日(日)	第2回(通算第25回)	評議員24名、監事2名出席
3月19日(日)	第3回(通算第26回)	評議員24名、監事2名出席

### ③ 専門部会の開催 (定数20名)

4月24日(日) 午後	第1回	19名出席	県大会の準備と8月までの計画確認他
6月18日(土) 夜	第2回	19名出席	9月までの行事、文化の集い打合わせ他
9月3日(土) 夜	第3回	17名出席	12月までの行事打合わせ、会費納入点検他
10月8日(土) 夜	第4回	17名出席	文化のつどい、会費納入点検他
12月3日(土) 夜	第5回	16名出席	全日ろう連、ろう連への要望、会費納入点検他
1月8日(日) 午後	第6回	18名出席	3月までの行事打合せ他、
2月19日(日) 全日	第7回	19名出席	年間のまとめ、来年度計画

### ④ 運営委員会の開催 定員7名

5月13日(金) 5名出席	5月評議員会・理事会の議題確認、社会福祉法一部改正への対応、意思疎通支援報酬改定等
12月6日(火) 6名出席	12月評議員会・理事会の議題確認、定款変更と役員改選手順、県要望交渉、手話言語条例取り組み他
3月13日(月) 7名出席	3月評議員会・理事会の議題確認、大会・集会の開催準備意思疎通支援報酬改定等

## (3) 富山ろう友編集、発行

A4版24ページ 毎月560～580部印刷

内 訳	平成29年3月号	参考;28年10月
印刷部数	560部	570部
発送部数	550部	568部
贈呈※	96部	96部
協会正会員	210部	224部

※贈呈先

県市町村及び社会福祉協議会、全日本ろうあ連盟及び連盟加盟団体他、提出用2部。

県内賛助会員	65部	65部
県内一般購読者	131部	135部
県外賛助会員	9部	8部
県外一般購読者	39部	40部

(4) 共同募金配分金助成事業の実施

① 聴覚障害者文化活動促進事業（第38回文化の集い）

日程 平成28年11月6日（日）  
 会場 高岡市ふれあい福祉センター  
 参加者 276名  
 内容 NHK手話ニュースキャスターの田中清さんによる文化講演の他、ステージ発表コンクールとして、支部協会・手話サークルによる演劇・コーラス、手話学習者の手話スピーチコンテスト、絵本手話語りパフォーマンスを行いました。また、会員・手話サークル等の活動紹介展、作品展も行いました。

② 手話奉仕員養成担当講師の研修事業

日程 平成28年9月3日～平成29年1月29日 全8回20講座  
 ① 9月3日（土） ② 9月4日（日） ③ 10月8日（土）  
 ④ 11月26日（土） ⑤ 1月14日（土） ⑥ 1月15日（日）  
 ⑦ 1月28日（土） ⑧ 1月29日（日）  
 会場 富山県聴覚障害者センター、サンシップとやま、教育文化会館  
 受講者 23名。修了者18名 のべ参加者154名  
 講師 全国手話研修センター  
 内容 手話奉仕員養成講座のポイント、テキストの使い方、講義の方法を学び、モデル・模擬講座、グループワークにて講座の進め方等を学習しました。

(5) 第58回北信越ろうあ者大会・第42回北信越手話通訳問題研究集会開催

10月1日（土）～2日（日）、アイザック小杉文化ホール他にて開催。参加者は429名、講師、来賓を含めると約440名になりました。集い等別の参加人数は、高齢者の集い51名、女性の集い29名、若人の集い44名、暮らしを考える集い58名、手話を考える集い76名、運動を考える集い58名、北通研の集いは10月1日が72名、2日が40名、交流パーティー67名でした。大会式典後のアトラクションとして、忍足亜希子・三浦剛ご夫妻によるトークショーが参加者を魅了しました。

(6) 手話言語法制定の取り組み

(7) 県・14市町村意思疎通支援事業の報酬単価改定。

(8) デフ・パペットシアター・ひとみ「森と夜と世界の果てへの旅」公演。

(9) 連盟創立70周年記念ドキュメンタリー映画「段また段を成して」富山県上映。

合計で440人が鑑賞し、全国3万人上映運動における富山県の目標420名を達成。

(10) 聴覚障害者災害救援富山県本部の取り組み

運営委員会の開催1回 平成29年8月12日（金）出席者8名

平成28年8月27日（土）県総合防災訓練参加

(11) 社会福祉法人全国手話研修センター第11回全国手話検定試験富山会場の実施

富山県試験会場の受験申込者数132名（昨年141名）、受験者数119名（昨年109名）、合格者数は110名（昨年99名）となりました。

## (12) 富山障害フォーラムの取り組み

4月1日（金）7:15～8:30 「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」施行アピール富山駅行動

事務局会議

- ① 5月17日（水） ② 6月16日（木） ③ 7月14日（木）
- ④ 9月8日（木） ⑤ 2月15日（木）

## (13) 要望取り組み

- ① 富山労働局との懇談 4月28日（木）7名出席、労働局から2名
- ② 県障害福祉課要望懇談 11月11日（金）10名出席、障害福祉課から3名

## (14) 体育各部の活躍

- ① 第65回北信越ろうあ者体育大会 平成28年6月25日～26日 石川県白山市  
野球競技、卓球競技、ボウリング競技、ゲートボール競技に出場
- ② 第50回全国ろうあ体育大会 平成28年9月15日～18日 東北分散大会  
野球、卓球、ボウリング出場

## (15) 社会福祉法一部改正による定款変更、評議員・専門部役員の改選

### (16) その他

- ① 事務局実務打ち合わせ会 月1回、午後6時40分～8時頃
- ② 監査対応  
富山市指導監査 平成28年9月14日（水）9:30～12:00 改善指摘事項なし
- ③ 聴覚障害者制度改革推進富山県本部の取り組み
- ④ 特定非営利活動法人大きな手小さな手デイサービス事業所への協力
- ⑤ 第27回富山県ろうあ者大会・立山町（中新川地区ろう友の会主管）の開催支援
- ⑥ 第28回富山県ろうあ者大会・小矢部市（砺波地区ろう友の会）の開催準備
- ⑦ 各専門部、特別委員会の活動
- ⑧ 各支部協会との連絡・連携
- ⑨ 県、富山と高岡聴覚総合支援学校、県社会福祉協議会、県身体障害者団体協議会他との連絡、会議
- ⑩ 県障害者福祉普及啓発キャンペーンへの協力
- ⑪ 北信越ろうあ連盟、一般財団法人全日本ろうあ連盟、NPO法人ろう教育を考える全国協議会、社会福祉法人全国手話研修センター（後援会）との連携
- ⑫ 関係団体との連携

## センター運営事業

平成28年度の富山県聴覚障害者センター来所者は約6,674名（前年度6,794名）。生活訓練講座、手話通訳者養成・研修等の講座、関係団体の部屋利用等、たくさんの方々にご利用していただきました。平成29年3月の耳の日福祉集会開催時に、センター10周年イベントを開催しました。

### ※センターの業務（センター運営費補助金申請で提出の業務項目）

- ① 手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣を行う。

- ②手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成、研修の充実に努める。
- ③手話講習会の充実、指導者の派遣、テキストや参考図書の販売等、手話の普及に努める。
- ④字幕・手話付きビデオライブラリーの貸し出しを充実するため、リストの整備・発行、貸出業務の迅速化に努めるとともに、自主番組を制作する。
- ⑤聴覚障害児・者に関わる相談支援に努める。
- ⑥IT等による聴覚障害者への情報提供に努める。
- ⑦視聴覚情報機器の貸し出しを行う。
- ⑧大研修室と、研修室等の貸し出しを行う。
- ⑨聴覚障害者を対象にした各種講座開催、文化・スポーツ等のイベント支援に努める。
- ⑩広報誌発行やイベント等による啓発活動に努める。

1. 手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者向け通訳・介助員の派遣（ ）は平成27年度

	手話通訳者派遣		要約筆記者派遣		盲ろう者向け通訳・介助員派遣		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
14市町村から受託の意思疎通支援等事業	515 (508)	593 (582)	39 (16)	72 (38)			554 (524)	665 (620)
富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業					112 (122)	162 (182)	112 (122)	162 (182)
富山県コミュニケーション支援事業	21 (28)	36 (44)	13 (11)	41 (34)			34 (39)	77 (78)
富山県障害者社会参加総合推進事業・生活訓練講座等における手話通訳派遣	51 (30)	87 (53)	5 (4)	11 (14)			56 (34)	98 (67)
一般派遣	319 (282)	515 (513)	29 (16)	114 (49)			348 (298)	629 (562)
<b>合計</b>	<b>906</b>	<b>1,231</b>	<b>86</b>	<b>238</b>	<b>112</b>	<b>162</b>	<b>1,104</b>	<b>1,631</b>
富山県障害者社会参加総合推進事業・手話通訳設置事業	※165 (97)	※165 (97)					※165 (97)	※165 (97)
平成27年度の合計	848	1,192	47	135	122	182	1,017	1,509

- 2. 富山県障害者社会参加総合推進事業の手話通訳者、盲ろう向け通訳・介助員、要約筆記者の養成・研修事業を実施しました。
- 3. 15の機関・学校・団体からの依頼に応じ手話講習会の講師派遣、1,002点の手話講習テキストや聴覚障害理解のための参考図書の販売等を行いました。
- 4. 聴覚障害者向けの手話・字幕番組の11件の収録、編集を行いました。
- 5. 101件の聴覚障害児・者に関わる相談対応を行いました。
- 6. インターネットのホームページ等による聴覚障害者に関する情報の提供を行いました。
- 7. 17件の視聴覚情報機器の貸し出しを行いました。
- 8. 全体で523件の大研修室、研修室等の貸し出しを行いました。
- 9. 聴覚障害者を対象にした講座・イベント・デイサービス活動等の支援
  - ①高齢部交流サロンは全体で18回開催されましたが、このうち、センターでは16回開催

され、送迎、交流内容の企画相談、実施の支援等を行いました。

②平成29年3月5日（日）センター開所10周年イベントを2017耳の日福祉集会と一緒に開催しました。映像ライブラリーからの上映会と貸出のPR、聴覚障害者情報提供施設の現在と今後についてのシンポジウム、図書販売等を行いました。

③6月5日（日）立山町で開催の第27回富山県ろうあ者大会の他、第38回文化の集い、第46回将棋大会、第29回マーじゃん大会等の行事開催を支援しました。

④富山県障害者社会参加総合推進事業の聴覚障害者生活訓練事業の講座開催を支援。全44回の内、富山県聴覚障害者センターで開催は17講座。参加者のべ364名

#### 10. 広報誌発行やイベント等による啓発活動。

①協会機関紙「富山ろう友」の発行支援と「センターだより」掲載

②手話通訳・要約筆記派遣、字幕付きビデオ貸し出し、センター利用の手引きを聴覚障害者、富山聴覚総合支援学校、高岡聴覚総合支援学校他の関係機関等に配布。

#### 11. その他

①センター来所者は、聴覚障害者2,985名、健聴者が3,689名、合計6,674名実績

③福祉サービス苦情解決については、特段の苦情はありませんでした。

④防火管理については、9月に警報・消火器の点検と消防計画担当を確認しました。

12月に富山消防署中分署、手話サークルに協力してもらい避難訓練を実施しました。

富山県総合防災訓練に現地会場とセンターをスカイプでつないでもらい、連絡、情報提供、遠隔地手話通訳等の訓練をしました。

⑤電話システム機器の更新工事、多機能コピー機のリース更新、パソコン1台の修理を行いました。

⑥職員の研修、福利厚生については、職員全員が健診を受けました。特定非営利法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会の総会・大会、コミュニケーション支援担当者研修会、聴覚障害者向けソフト製作担当研修会に職員を派遣しました。

## 公益事業

公益事業は、富山県から「富山県障害者社会参加総合推進事業」、「富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業」、「富山県コミュニケーション支援広域派遣事業」の委託、富山市を除く14市町村から障害者総合支援法・地域生活支援事業における意思疎通支援事業の委託を受けて事業を実施しました。

また、自主事業として手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員、手話講習会講師派遣の事業を実施しました。

### 1. 富山県障害者社会参加総合推進事業

#### (1) 平成27年度手話通訳者養成・研修事業

##### ①手話通訳者養成講習会・手話通訳者現任研修会

- ・手話通訳Ⅰ 平成28年5月29日～平成29年2月5日 全16回36講座 受講者14人、修了者11人
- ・手話通訳Ⅱ 平成28年5月28日～平成29年2月4日 全15回34講座 受講者11人、修了者9人

- ・実践課程 平成28年5月8日～11月29日 全15回 受講者6人、修了者5人
- ・手話通訳者現任研修 平成28年8月7日～平成29年3月26日 全6回のべ201人受講

②手話通訳者登録試験

社会福祉法人全国手話研修センターの手話通訳者全国統一試験に準拠し、平成27年12月3日（土）に実施、11人が受験され2名合格しました。

③講師養成講習会派遣

社会福祉法人全国手話研修センターの「手話奉仕員養成及び手話通訳者養成担当講師リーダー養成研修会北信越ブロック会場に5名、手話通訳者担当講師の連続講座補習に2名派遣しました。

④盲ろう者向け通訳・介助者養成

平成28年8月28日～12月18日 全8回22講座 受講者13名、修了者10名

盲ろう者向け通訳・介助員現任研修 平成29年1月21日～22日 受講者のべ36名

(2) 平成28年度要約筆記奉仕員養成・研修事業

①要約筆記者養成講習会 平成28年6月4日～平成29年2月4日 全21回

手書きコース 受講者3人、修了者3人

パソコンコース 受講者1人、修了者1人

②全国統一要約筆記者登録試験を平成29年2月19日（日）に行いました。6人が受験され、合格者はありませんでした。

③要約筆記者現任研修 平成29年1月21日 受講者15名

(3) 平成27年度手話通訳者設置事業

①165件の手話通訳・相談活動等の他、登録手話通訳者派遣のコーディネート業務を行いました。

②登録手話通訳者等の頸肩腕障害予防の特殊検診を平成28年11月13日（日）に行い、21人が受診されました。

(4) 平成28年度字幕入りビデオカセットライブラリー事業

個人242名、9団体を登録し、延べ利用者21人、のべ本数41本の貸し出しを行いました。全タイトル一覧を掲載したPRパンフレットを作成、配布し、貸し出しの促進に努めました。

(5) 平成28年度聴覚障害者生活訓練事業

平成28年4月3日～平成29年3月26日 全44回、のべ1,476名の参加がありました。

①コミュニケーション・情報研修事業 10回

②文化・情報研修事業 5回

③社会・家庭生活研修事業 27回

④レクリエーション事業 2回

2. 富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業 正味派遣数112件、派遣者のべ162人

3. 富山県コミュニケーション支援事業 正味派遣数34件、派遣者のべ77人

4. 各市町村受託事業

14市町村から受託の意思疎通（コミュニケーション）支援事業については、手話通訳者派遣依頼正味件数515件（派遣のべ593人）、要約筆記者派遣依頼正味件数39件（派遣のべ72人）、合計派遣依頼正味件数554件（派遣のべ人数665人）となりました。



#### 5. 手話通訳者・要約筆記者派遣

主催者から派遣費用が支払われる県全域を対象にした大会、集会、研修会、講座、会議等、その他県外からの依頼等については公益事業の一般事業（正味件数348件、派遣のべ件数629人）で対応しました。

#### 6. 手話講習会等講師派遣

15機関・学校・団体からの手話講習会、福祉体験講座等の依頼に対応し講師を派遣しました。

### 収益事業

書籍は757冊、ビデオは9本、季刊みみは237冊、合計して1,003点の販売となりました。手話奉仕員養成テキストは、各地区での講習会のため192冊、指導書は8冊販売しました。「聴さんと学ぼう」が80冊、障害者差別解消法に合わせて発行された「聴覚障害者へ合理的配慮とは」が90冊販売しました。収益はすべて公益事業に繰り入れました。

### 会計決算

社会福祉事業（本部事業、センター事業）、公益事業、収益事業全体の資金収支計算書を合計して下記のようにになりました。

事業活動収入	53,865,378円
事業活動支出	49,469,149円
事業活動収支差額	4,396,229円
施設整備等資金収支差額	▲ 421,200円
当期末資金収支差額	3,975,029円
前期末支払資金残高	55,044,497円
当期末支払資金残高	59,019,526円

これにより、当期末支払い資金残高は、合計59,019,526円となりました。財産目録の最後にある「差引純資産」は合計216,426,457円を資産の総額に関する登記として行います。